

令和元年度 第2回 高山市総合教育会議 議事録

【日 時】 令和2年3月10日（火） 9時00分～11時30分

【場 所】 高山市役所 4階 特別会議室

【出席者】 (構成員) 高山市長 國島 芳明
教育長 中野谷 康司
教育長職務代理者 針山 順一郎
教育委員 打江 記代
教育委員 野崎 加世子
教育委員 長瀬 信
教育委員 白田 美樹

(構成員以外の出席者)

西小学校 三輪太雄校長

企画部長、教育委員会事務局長、市民活動部長、市民保健部長、福祉部長、商工観光部長、企画課長、教育総務課長、学校教育課長、文化財課長、学校給食センター所長、協働推進課長、生涯学習課長、スポーツ推進課長、健康推進課長、子育て支援課長、企画課係長、教育総務課係長、学校教育課係長、企画課職員

【会議内容（次第）】

- ・市長あいさつ
- ・教育長あいさつ
- ・議題
 - (1) 新型コロナウイルス感染症対策について 資料A・B・C
 - (2) 西小学校における生きる力を育む実践教育の取り組みについて
「生活の確立・学習の確立・思春期の確立」 資料1
 - (3) 第八次総合計画及び各種計画における教育大綱に関する取組み等について
資料2・3・4・5・6
 - (4) 教育大綱の推進に向けた令和元年度の取組みを踏まえた
令和2年度の取組みについて 資料7

【議事要旨】

市 長 (1) 新型コロナウイルス感染症対策について
それではそれぞれの部署より説明をお願いします。

市民保健部長 (資料Aにより説明)

教育委員会事務局長 (資料Bにより説明)

福祉部長 (資料Cにより説明)

- 市長 委員の皆様、何かご意見はありますか。
- 針山委員 学校が休校になり、放課後児童クラブが開設されていることで働くお母さん達は大変助かっていると聞いていますが、放課後児童クラブが朝から開設になったことで支援する人の体制や利用者数について、どのくらい増えているのかをお聞かせください。
- 福祉部長 学童保育すまいる高山さんという団体で人員体制を整えて開設いただいています。また、教育委員会と連携して、学校で勤務されている保健相談員にもお手伝いをいただいています。今後のローテーションの中で、人員が足りなくなるような場合は、教員に対し協力依頼をしても良いとの通知が国から出されています。
- これまでに新たに申し込みをされた方は、全市で30人と想定していたよりもかなり少なく、この春休みも含めた3月中の利用をされない方は100人以上になりました。できるだけご自宅で子ども達の見守りをとお願いしたところ、保護者の方々にもご協力をいただけたものと思っています。
- 針山委員 給食が休止となっていますが、職員やパートの方々の雇用体制をお聞かせください。
- 学校給食センター所長 現在、調理の仕事はありませんが、食器や食缶を磨くなどのメンテナンスを行っています。また、学校における作業なども手伝ってもらい、これまでと変わらず勤めていただいています。
- 針山委員 牛乳が1日約7,000本余るなど、学校給食だけではなく観光業にも大きな影響が出てくると思っています。これまで地産地消で献立に取り入れている食材など、納入業者と話し合いながら対応されていると思われませんが、地元業者に大きな影響はありましたでしょうか。
- 教育委員会事務局長 給食の休止に伴い、食材の納入をお断りしたことによってその分の売上が減るという状況はありますが、すぐに腐ってしまうといったような食材ではなかったため、事業者の皆様にはご了解いただいたところです。
- 商工観光部長 市内事業者の状況把握を進めており、季節的に原材料を比較的長期に保存できる状態ですが、休止となった給食分の売上については当然影響があります。2月の売上に徐々に影響が現れており、3月以降もその状況がしばらく続くと見込まれます。繋ぎ資金を借りられる事業者への利子や保証料補給にかかる予算を3月議会に上程しており、当座の対応とさせていただきますと思っています。
- 針山委員 学校には先生方のほか保健相談員など非常勤雇用の方たちも働いてみえますが、その方々への対応はどうなっているのでしょうか。
- 学校教育課長 学校には市費で配置している保健相談員・特別支援員のほか、県費で配置されている非常勤雇用がありますが、どちらも学校で勤務することを保障されており、校内の整理整頓や書類作成等を行っています。
- 針山委員 国からも様々な施策が出されているようですが、まだまだ不透明に感じられます。

これから想像もできないような影響が出てくるのではないかと考えていますが、給食への対応や休業補償について、国からはどのような施策が出されているのかお聞かせいただけますか。

企画部長 国ではさまざまな対策を講じるとされていますが、具体的なスキームが示されていないため、市としても、各部署で情報収集にあたっているところです。

針山委員 国は給食への対応や保護者の収入減についても補償を検討されているようですが、これからも様々な影響が考えられると思っています。自治体の事情はそれぞれ違いますので、国の施策で良いものは活用しつつ高山市の実情を踏まえた対応を図って欲しいと思っています。市民から様々な困りごとが寄せられるでしょうし、観光業にもかなり影響が出てくると思っていますので、市長部局や教育委員会で連携して取り組んでいただきますようお願いいたします。

市長 市としては3月15日を目途に様々な施策を講じていますが、現在の状況を見ますと、15日までに収束するのかが不透明です。13日に市の対策本部会議を開催し、今後の方針を決める予定にしています。

長瀬委員 資料Bについてお聞かせください。学校では臨時休業という形をとっていますが、子ども達が家庭で充実した生活を送れるような支援をされることがとても大切になってきます。休業中の学習について、プリントなどを配付したり家庭学習を指導するという説明がありました。あわせて休業中の子ども達の体調や様子を確認するため、電話や家庭訪問を実施されるということですが、現時点の実施状況についてお聞かせください。

学校教育課長 それぞれの学校規模によって実施状況が異なりますが、子ども達に渡したプリントがほぼ終了する時期に改めて家庭訪問し、新しいプリントを渡すというような指導を実施している学校もありますし、電話等でより健康状態を確認している学校もあります。

長瀬委員 教育委員会として、今後、学校ごとの実施状況を、確認していく必要があると思いますが、そのような計画はありますでしょうか。

学校教育課長 各学校の状況を踏まえながら、登校日や学習相談日などの設定、卒業式の開催、通知表の受け渡しなどについても、検討を進めているところです。

白田委員 子どもが放課後デイサービスを使っていますが、事業者の方からは、思ったほど利用は多くないと聞いています。

どれだけ長引くか分からないなかで、障がいの有無にかかわらず、友達と会って話せなかったり外で遊べないといった子ども達のストレスを一番心配しています。

学童保育やデイサービスを利用していない子ども達の精神面について、十分に配慮して欲しいと感じていますが、いかがでしょうか。

学校教育課長 委員のおっしゃるとおりで、私たちも大変心配しています。子ども達のストレスが強くなってきているとの報道等もありますし、実際に感じておりますので、学習相談日などを利用しながら、外に出る機会を設けていきたいと考えています。

- 白田委員 デイサービス等を利用させてもらってありがたいと思う反面、病弱児などの場合は、集団で過ごすことのリスクを考えてしまうなど、保護者も葛藤があると思います。私は図書館に勤務していますが、学校が休業になってからの子ども達の利用は少なく、今まで利用していた子どもが、親と一緒に来て借りることはありますが、今まで利用していなかった子ども達は来ません。こういった機会に、利用してくださいとも言いますが、是非活用してもらえたらと思います。
- 市民活動部長 この機会に本に親しむことは大変重要だと捉えております。今後の状況により、図書館の施設利用についても検討していきたいと考えています。
- 子育て支援課長 放課後児童クラブやデイサービスについても、対応している支援員が子ども達のストレスを心配しており、広いスペースを使った遊びを取り入れるなど、子ども達の状況に応じて対応しています。
- 福祉部長 施設利用については消毒の設置やマスクの着用を徹底しています。子どもに咳が出たり、熱があるような状態であれば、他の子どもへの影響を考慮し、丁寧に説明して利用を控えていただいています。
- 打江委員 例えば市職員に感染者が現れた場合、市の運営が滞らないために業務も増えてくると思いますが、そういった状況でのテレワークなども含めた対応についてお聞かせください。
- 市 長 各職員による自己管理を徹底しているところですが、万が一、感染した職員が発生した場合、関係する部署だけを止めるのか市役所全体を止めなければならないのか、状況により対応が異なってくると思っています。新型インフルエンザ等対策マニュアルに基づいて対応してまいります。
- 野崎委員 私の経営する介護事業所でも、障がいをお持ちの子ども達の保護者や高齢者の方々が不安になられ、様々なことを話されています。市のホームページ等でも周知されていますが、私達ホームヘルパーや医療・介護に携わる者が特に冷静に対応し、利用者の不安なことや、感染防止がしっかり出来ているということをお伝えすること、恐れすぎず市民の方々と伴走して一緒に対応することが今一番大事だと思っています。このような状況を乗り切ることが、今後の災害や安全への備えの根本になりますので、それぞれの部署で実施されていることを集約し、各家庭に伝えていただけるとありがたいと思います。
- 市 長 各部署にはお話いただいたことも踏まえ、対応していただければと思います。次の議題に入らせていただきます。
(2) 西小学校における生きる力を育む実践教育の取り組みについて、三輪校長先生からご説明いただきます。
- 三輪校長 (パワーポイントにより発表)
- 教育長 校長会長ということで、三輪校長の思いを伝えていただきました。この生活の確立・学習の確立・思春期の確立というのは西小学校だけが実施しているのでは

なく、市内の全校が目指しています。

皆さんご存知のように、全国の小学校では不登校や虐待の増加、ゲーム依存症など抱えている問題が非常に大きくなっています。特に小学校教育は、保育園、幼稚園から上がってきたばかりの1年生から思春期を迎える6年生までの指導の幅が必要となり、全国的に教育が難しくなっています。岐阜大学の橋本治先生にご協力をいただき、ぜひ今後も高山市内に広げていってほしいと思います。

また、今年度から県費による加配の教員が対応し、市内の不登校児童が西小学校で授業を受けられるという別室登校というシステムを始めていますので紹介させていただきます。

市長 委員の方々から何かご質問等がありますでしょうか。

野崎委員 熱い想いを聴かせていただき、ありがとうございました。学校訪問でも何度か伺っていますが、連携され取り組まれている様子が良く分かりました。保育園の時から眠育や食育も含めた取組みが、生活の確立においてとても大切だと感じました。教育大綱に書かれているように、お母さんのお腹に居るときから継続して取り組めるような話に繋がると感じて伺いました。

長瀬委員 テーマに「幼保・小・中とぎれのない支援を通して」とありますが、エリアは異なりますが、ここに高校がどのように関わられるのか、考えながら聞いていました。

子ども達には難しい面もありますが、やはり高校生が入ると良いと感じますので、教育委員会として考えていく必要があると思いました。

ぜひとも、教師の魅力や夢を子ども達に語っていただき、将来を担う子ども達を育てていただきたいと思いました。

白田委員 先生方の使命のお話の中に、保護者の伴走者としてという言葉がありました。子ども達に熱心に関わっていただき、さらに親にも寄り添ってもらえるということが、大変ありがたく感じました。

打江委員 西小学校においては、幼保・小・中の一連の見通しを持って取り組まれていることが、本当に素晴らしく感じました。特に小学校に入る前のスタートプランにおいては、保護者の賛同を得ることが、皆さんの実践にも繋がっていくと思いました。人が関わって、支えていくことの重要性を感じました。

針山委員 西小は市街地にあって児童数が減少していますが、存在感があって良い学校だと改めて感じさせてもらいました。休校により孫と一緒に学校の周囲を走るようになりました。その姿を見た町内の人と一緒に走るようになりました。休校をプラスに考えて前向きに取り組んでいきたいと思います。熱血の三輪先生、ありがとうございました。

市長 熱い想いを持って子ども達や保護者の皆さんと接してくださる先生方に、大変感謝しております。荘川地域では、幼保・小・中の合築に向けて地域の皆様から要望をいただき市でも検討を進めているところです。今日も少しそのことに関するお話がありましたが、先生のお考えがありましたらお聞かせいただけますでしょうか。

三輪校長 小・中だけでも、6歳の小学校1年生の子が、9年後の15歳となった自分を上級生の姿に重ねて憧れをもって見たり、15歳の子が6歳の自分を振り返りながら、自分の成長を確かめられる。それがさらに4歳の頃から関わることが出来るとなったら、非常に教育効果が高く、目指す姿も一本化していけると考えています。ぜひ、荘川地域で実施していただき、さまざまな地域にも広まっていくと良いと願っています。

市長 市役所に入ってきた新人職員もなりたい自分がほとんどなく、市役所に入ってから初めて自分探しを始めるようです。思春期の確立の時期が遅くなってきているようですので、一度先生に来ていただき、市職員にもお話をいただけたらと思います。西小学校と総和保育園の合築時に携わった一員として、こうして先生からご報告いただけることは大変嬉しく思いますし、その時の決断が良かったと改めて感じることができました。

先生には様々な面でお世話になりますが、今後ともよろしくお願ひいたします。

次の議題に入らせていただきます。

(3) 第八次総合計画及び各種計画における教育大綱に関する取組み等についてをお願いします。

企画課長 (資料2に基づき説明)

商工観光部長 (資料3に基づき説明)

福祉部長 (資料4・資料5に基づき説明)

教育委員会事務局長 (資料6に基づき説明)

市長 ご質問を伺いたいと思います。

長瀬委員 高校を卒業して就職する者の大半が地元就職をされると思います。私の勤務していた学校では、就職者の8割位は地元就職でした。今年度において、飛騨地域あるいは市内の事業所で4年生大学卒業者の求人ほど程あるのでしょうか。産業振興計画の1ページ目に、地元離れに歯止めがかかっていない状況と書かれていますが、高校生たちは郷土に愛着を持っており、できれば地元に戻って活躍したいと思っけていても、受け皿がないため帰るにも帰れない状況があるのではないのでしょうか。地元離れの原因を、若者側に求めるべきなのか、そういう状況をもう少し掘り下げていかなければ、なかなか解決しないのではないかと思いますがいかがでしょうか。

商工観光部長 詳細なデータを持ち合わせていないのですが、高校を卒業される方の約7割が一度、市外に出られ、その方のうちの約2割が戻ってきています。

高山市の場合、ものづくりや、観光業などの職業は多いのですが、昨年作成した経済構造分析からは、情報系やデザイン系といった部門が非常に薄いということを確認しています。そのような企業が高山市に根付いてもらえることを目指して、サテライトオフィスの誘致を促進しており、市内におけるIT企業が

立地を進めるなど一度地元を離れた子ども達が帰って来られるような環境を作
っていきたいと思っています。

針山委員

第八次総合計画に委員として携わらせていただき、非常に中身の濃い計画に
なっていると思います。他の4つの計画内容も聞かせていただきまして、連携
することが非常に大事と感じました。

教育大綱が出来たおかげで、教育分野にも子ども達が生まれてから大人にな
るまでが網羅されており実効性が伴ってきていると思っていますが、さらに、
各種計画と連携し各部署が丸となって取り組むことで、もっと素晴らしいも
のになると思いますがいかがでしょうか。

企画部長

第八次総合計画の見直しのポイントとしては分野横断的なところと認識して
おり、それを成し得るには分野を超えた連携が欠かせません。分野にとらわれ
ることなく、横断的な取り組みを実施していくには職員の意識改革も必要であ
ると思います。それぞれの事業については個別計画で推進していき、全体を横
断的に総合計画で俯瞰していくことと捉えています。

針山委員

今年は雪不足で通学路の除雪をされる業者が非常に痛手を受けてみえますが、
市では補償や補助を考えているのでしょうか。

商工観光部長

暖冬による経済への影響については、新型コロナウイルスと同様に除雪事業
への資金繰りへの対策についても検討しているところです。

野崎委員

資料5子どもにやさしいまちづくり計画の5ページに、母子健康包括支援セ
ンターの概要があり、出産前から健康推進課と子育て支援課が連携して取り組
むことがよく分かり大事なことと思います。個々の相談や健診の中でアザや発
育不良など幼児への虐待等が疑われる場合、家庭児童相談員の方に相談をされ
て対応されるのか、保健指導員のなかで対応されるのか教えてください。

母子健康包括支援センターの業務の中のセルフプランと支援プランがありま
すが、この母子健康包括支援センターにて作成する支援プランの内容を教えて
ください。

健康推進課長

健康推進課の母子保健係において、母子健康包括支援センターを新年度早々
に立ち上げ、仕組みを構築することとしています。母子健康手帳の交付や妊婦
教室などで異変に気付いた場合は、現状を把握し、母子健康包括支援センター
と子ども発達支援センターが情報を連携し、定例会や個別のケース会議も設け、
必要な支援に繋げてまいります。

支援プランの作成は3パターンありまして、自身で必要なサービスを作成で
きる方、助言があれば作成できる方、自身では計画的なプランを立てることが
難しい方に分けています。自らプランを作成できない方については、母子健康
包括支援センターでプランを作成し、必要なサービスに繋げて支援していきま
す。

子育て支援課長

保健師が母親と信頼関係を築き、子育ての不安や虐待などを含む様々な情報
を入手し、重篤なケースやその恐れがあるような場合、家庭児童相談員に情報
を共有し連携して対応していくことが、母子健康包括支援センターの目的です

ので、意識しながら取り組んでまいります。

野崎委員

虐待は小学生や中学生になった時にも心の傷として残っていたり、学校の勉強もなかなか進まず不登校になるといったケースを数多く見ていますので、丁寧な指導をお願いしたいと思います。

母親がプランを立てるということは、なかなか難しいため、一人ひとりに個別に保健師が関与したり、他の機関との連携を密にして進めることが大切です。市が構築された新たなシステムでとても大切なことですが、学校教育課とも連携して進めていただきたいです。

打江委員

高校生や大学生が市外で就職し、若い世代が高山から離れていく理由は、高山が嫌だからではなく、給与面、制度面においてなかなか難しいのだと思います。市外で働いている方で高山の自宅に時々戻ってみえる方の数、実家が空き家にならないように地元に戻って就職される30代から50代の方の数を把握してみえますか。

毎年県内の大学生10人位が、高山の企業を見学に来てくれますが、県内における大学生への職業斡旋の取り組みについて教えてください。

商工観光部長

30代から50代で高山に戻って就職されている方の数は把握していません。

雇用促進協議会が中心となって、大学生を対象とした市内企業の就職ガイダンスを年3回実施しています。新型コロナウイルスの関係で中止しましたが、来春卒業予定の学生を対象としたガイダンスも3月27日に予定しておりました。飛騨市を含めて毎回100人弱の学生が来場し、地元企業とのマッチングを行っていますが、そのような機会を有効に活用していくことが課題と捉えています。市外へ出られた子ども達には、就職ガイダンスのお知らせを送るなど、情報の発信に努めています。

打江委員

障がいを持つ方が働くために一番ネックになるには、交通手段だと思います。さまざまな地域や企業が点在しているため、都合よく公共交通機関が利用出来ない場合があります。働く意欲はあるけれど交通手段がない、免許はなかなか難しいという場合の、市の対応についてお聞きかせください。

福祉部長

障がい者タクシーなどについては、観光客優先の部分があるなどの実情もありました。公共交通機関も充実を図ってきており、高齢者や障がい者のバス利用については、無料としているところでございます。

市長

高山市役所への就職状況を見ますと、3分の1は市外の方で、時には半分というようなこともありますし、家具製造業では、ほとんどが市外の方という状況です。職種によって就職される割合が異なっているようですが、一度商工課でデータを調べながら対策を練らせていただきたいと思います。

市長

次に、議題（4）教育大綱の推進に向けた令和元年度の取組みを踏まえた令和2年度取組みについて、ご議論いただければと思います。

資料の説明を事務局からお願いします。

企画課長

（資料7について説明）

市長 主に新規や拡充した内容の説明でしたが、この件についてご質問等ありますか。

各委員 (質疑等なし)

市長 事業についてはどこまですべきかということは議論があろうかと思いますが、それぞれが抱えている課題をどう解決していくかということにつきましては、力を入れていきたいと思っています。

教育委員の皆様方には、それぞれのお立場があると思いますが、ご意見やご要望等がありましたら、またお聞かせいただければと思います。

予定されていた議事は以上でございます。

それでは、進行を事務局に戻します。

企画部長 委員の皆様には、熱心なご討議をありがとうございました。先ほども申し上げましたが、第八次総合計画は中間見直しということですが、大幅な見直しを実施いたしました。やはり人づくり・人材育成が大きな柱であり、その源は「教育」にあると考えております。引き続き全庁挙げて取り組んでまいります。

以上をもちまして、令和元年度第2回高山市総合教育会議を終了させていただきます。